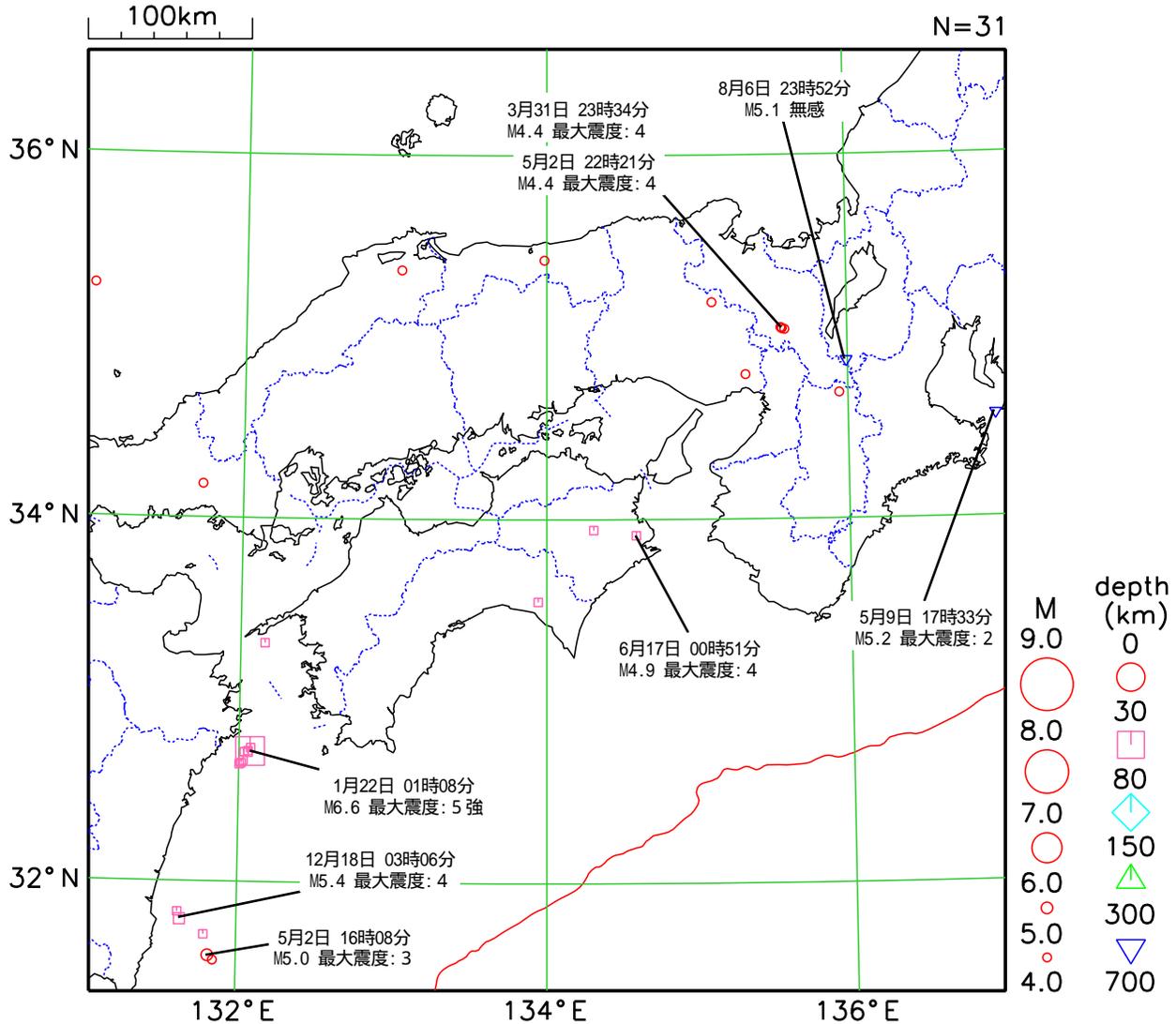


# 大阪管区気象台 管内地震活動図

2022 01 01 00:00 -- 2022 12 31 24:00



## 概況

図中の吹き出しは管内で震度4以上を観測した地震またはM5.0以上の地震に付加

2022年に上図の範囲内で発生したM4.0以上の地震は31回（2021年25回、2020年19回、2019年29回）でした。

2022年に管内で震度1以上を観測した地震は220回（2021年240回、2020年160回、2019年182回）、このうち震度4以上を観測した地震は5回（2021年9回、2020年2回、2019年3回）でした。

2022年の主な地震活動は次のとおりです。

1月15日13時頃（日本時間）にトンガ諸島付近のフンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、全国各地で潮位変化を観測しました。管内では高知県土佐清水で100cmの潮位変化を観測するなどしました。

1月22日01時08分に日向灘の深さ45kmでM6.6の地震が発生し、大分県と宮崎県で震度5強を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました。管内では高知県宿毛市で震度5弱を観測するなどしました。

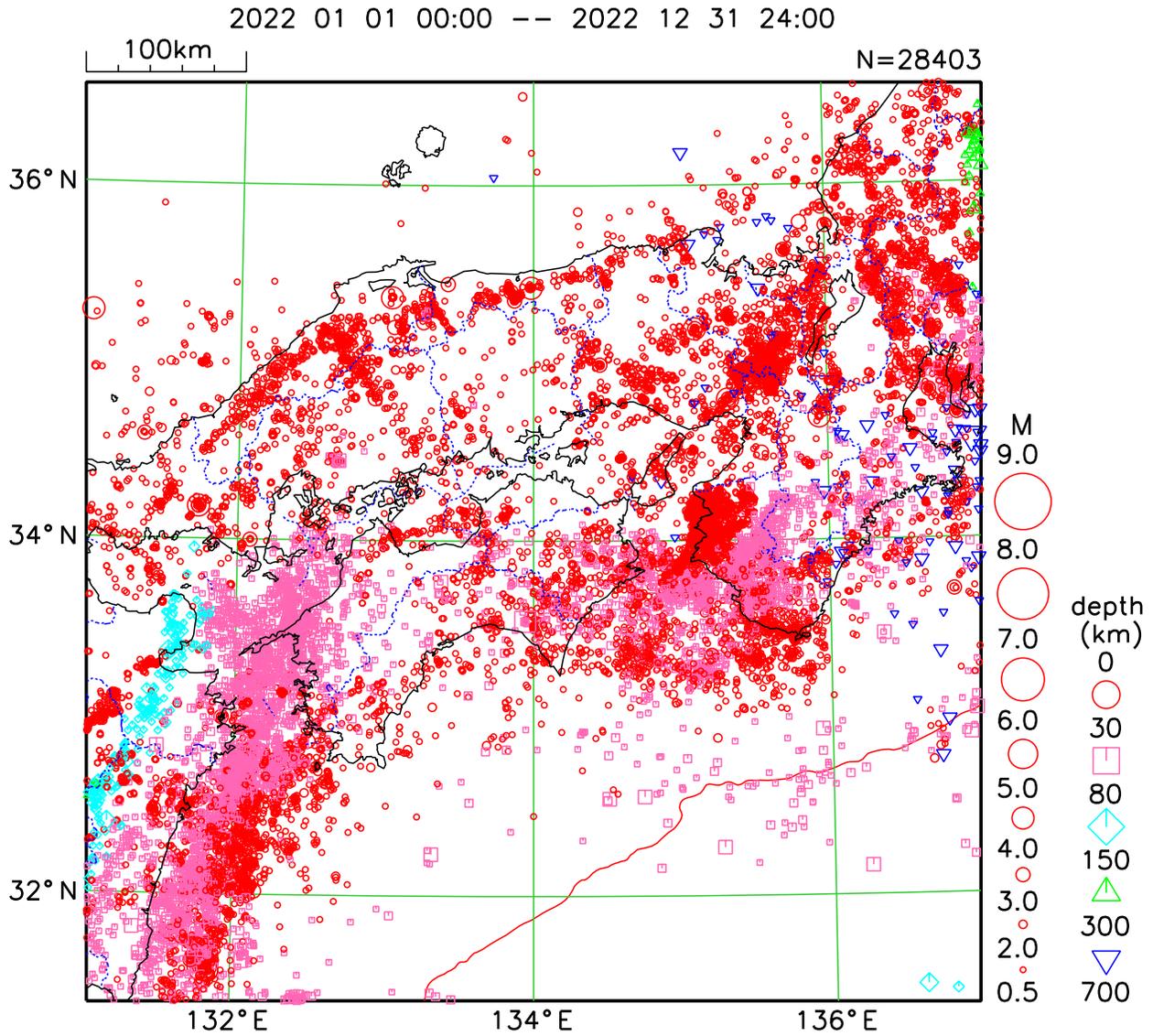
京都府南部では3月末から6月上旬にかけて地震活動が活発となり、震度1以上を観測する地震が16回発生しました。このうち、3月31日23時34分に深さ13kmで発生したM4.4の地震で京都府京都市伏見区・亀岡市で震度4を観測したほか、中部地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。また、5月2日22時21分に深さ13kmで発生したM4.4の地震でも京都府亀岡市で震度4を観測したほか、中部地方から中国地方にかけて震度3～1を観測しました。

6月17日00時51分に徳島県南部の深さ45kmでM4.9の地震が発生し、徳島県阿南市で震度4を観測したほか、中部地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。

本資料の震源要素及び震源データは、再調査されたあと修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

# 大阪管区気象台 管内地震活動図

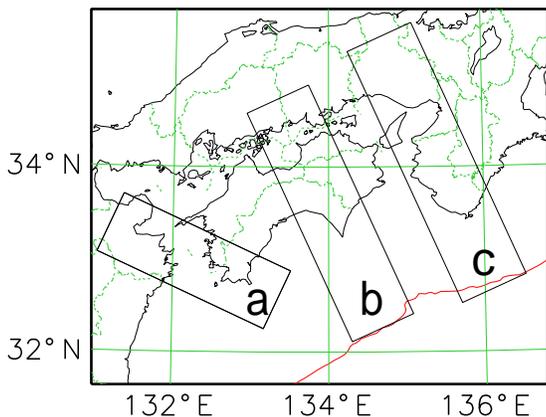


## 概況

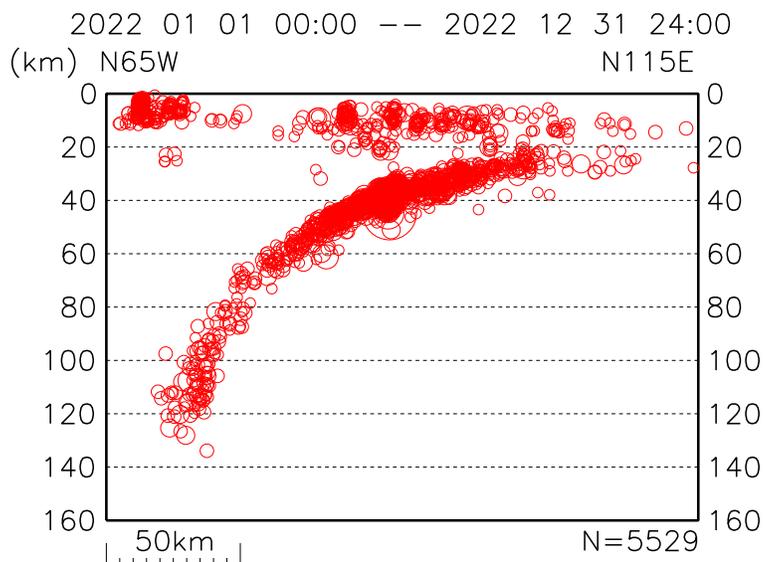
上図の範囲内で、2022年に震源が決定された地震のうち、M0.5以上の地震は28,403回(2021年は22,449回)でした。

# 管内地震活動図(断面図)

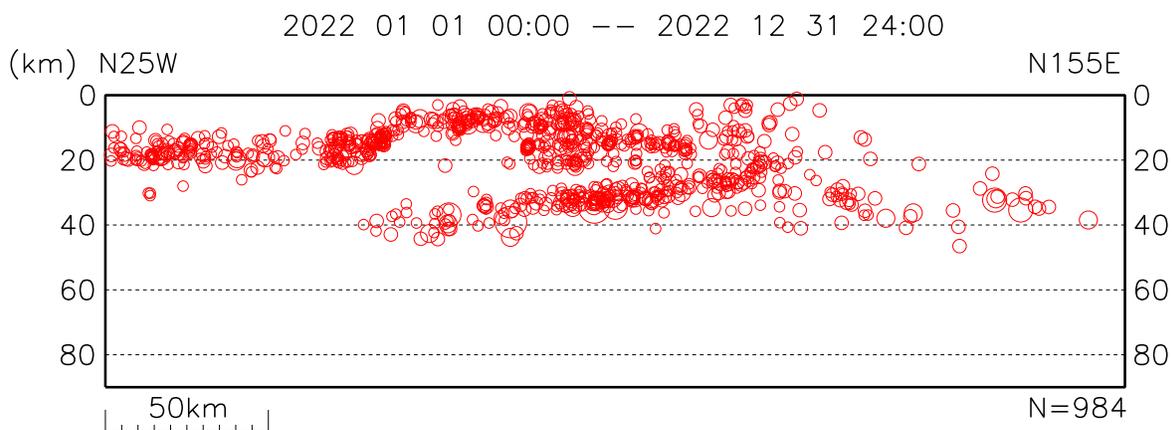
領域図



a. 豊後水道



b. 瀬戸内海中部～四国沖



c. 兵庫～和歌山南方沖

